

# 3 M™ ベアーハガー™ ブランケット 使用のポイント

マルチポジションアッパー用 Model 622

上半身を加温する患者にかけるタイプ

砕石位



販売名：3 M ベアーハガー ペーシエントウォーミング ブランケット／認証番号：223ADBZX00108000

3 M、ベアーハガーは、3 M社の商標です。

本資料に関するお問い合わせは、スリーエム ジャパン株式会社 医療用製品事業部：[3mhc.jp@mmm.com](mailto:3mhc.jp@mmm.com) へお願いいたします。

上半身を加温するアッパータイプ

砕石位



【シーン：準備】

# ウォーミングブランケットのセッティング

## Point 1 表裏・中心位置の確認

ライナー紙のある面(孔がある面)を患者に向け、広げる。



センターマークが体の中心にくるようにセットする。清潔野にかからないようにブランケットを折り曲げる。



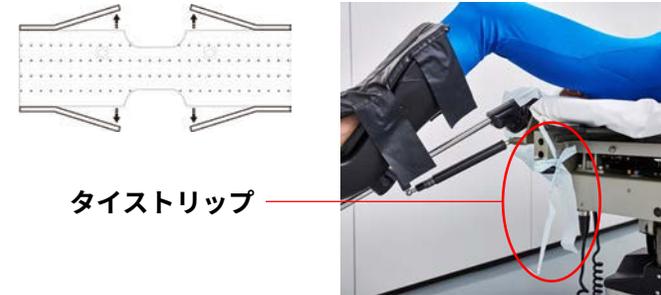
## Point 2 固定テープの使用

ズレ防止のため、固定用テープを使用する。固定用テープ側を術野に向けライナー紙をはがし、清潔野にかからないように固定する。



## Point 3 タイストリップによる固定

4箇所あるミシン目に沿ってタイストリップを切り離し、手台やベッドレール等に結んで固定する。



### ワンポイント!

ウォーミングブランケットと患者の間に温風の対流が生まれるように、タイストリップはふんわり結ぶ。



上半身を加熱するアッパータイプ

碎石位



【シーン：準備】

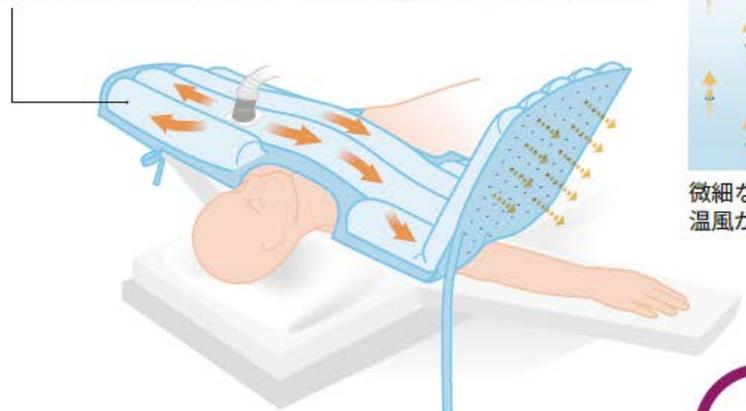
## ウォーミングブランケットのセッティング

### ワンポイント！

ウォーミングブランケットは、患者体表面に直接接触るように使用する。

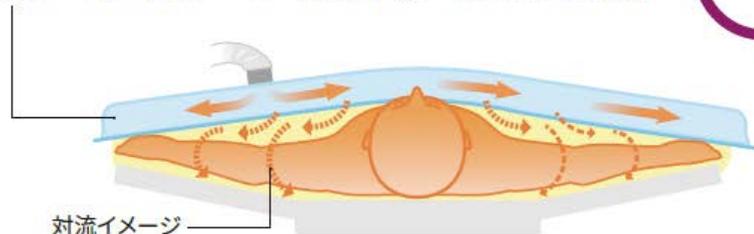
ウォーミングブランケットと患者体表面の間にタオルケット等を敷くと、温風の対流が妨げられるため加熱効果が低下する。

3M™ ベア-ハガー™ ペーシエントウォーミングブランケット



微細な孔から均一に温風が吹き出します。

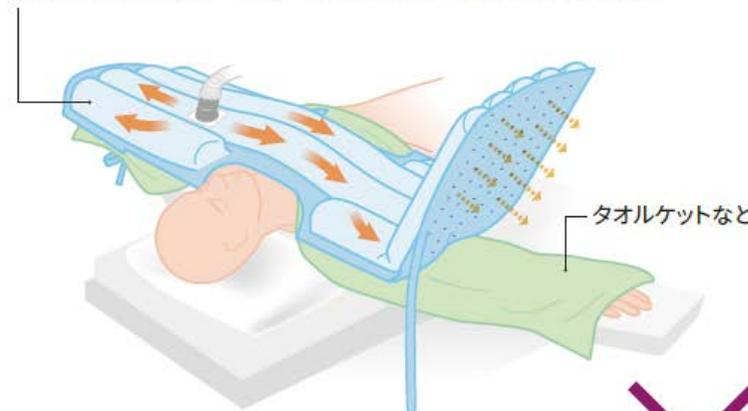
3M™ ベア-ハガー™ ペーシエントウォーミングブランケット



対流イメージ

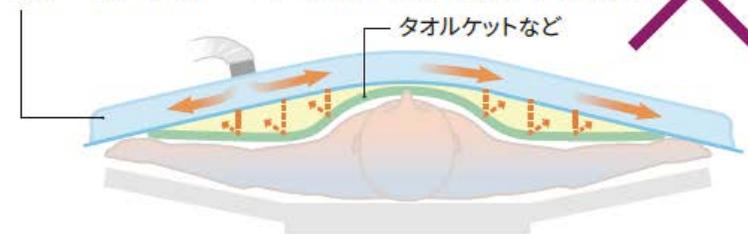
対流による加熱は接触面以外の部分も均一に加熱することができます。

3M™ ベア-ハガー™ ペーシエントウォーミングブランケット



タオルケットなど

3M™ ベア-ハガー™ ペーシエントウォーミングブランケット



タオルケットなど

加熱のための対流が妨げられてしまいます。

上半身を加温するアッパータイプ

碎石位



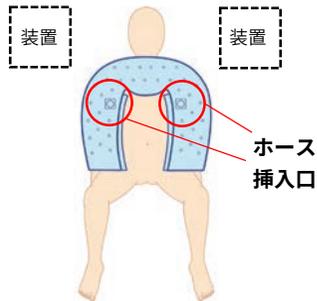
【シーン：準備】

# 温風式加温装置のセッティング

Point 1

位置決め

他の医療機器等を考慮して、温風式加温装置の位置を決める。ウォーミングブランケットには挿入口が2箇所あり、それぞれの挿入口側もしくは反対側に装置をセットすることが可能。



Point 2

エア-ホースの接続

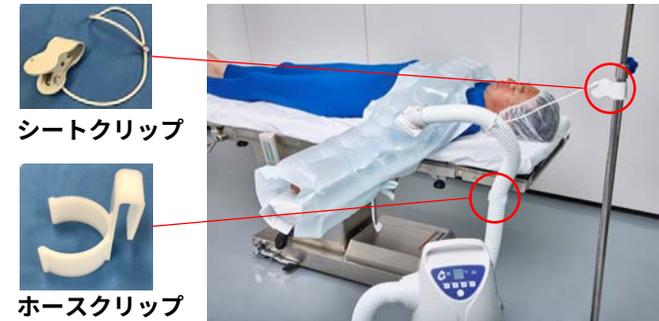
設置した装置に近い方の挿入口のホースカードを外し、フィルムを指で破る。挿入口を変更したい場合は、外したホースカードで再度塞ぐ。



Point 3

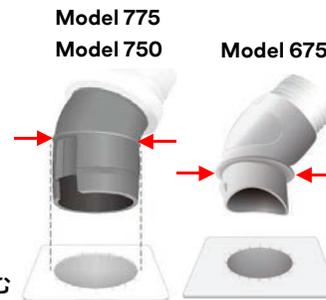
固定具を活用した  
エア-ホースの固定

高温になったエア-ホースが患者体表面に近づきすぎないように、必要に応じて固定具を活用する。



🔍 ワンポイント！

患者体表面にエア-ホース先端部が接触しないように、ホースを差し込み過ぎないように注意する。



矢印部分まで差し込む

🔍 ワンポイント！

患者体表面にエア-ホースが接触すると熱傷のおそれがあるので注意する。



上半身を加温するアッパータイプ

碎石位



【シーン：体位固定】

## 透明ヘッドドレープの使用

### Point 1

### 頭部からの放熱を防ぐ

ブランケットと一体になっている透明ヘッドドレープは、保温カバーとして頭部を覆うと、頭部からの放熱を防ぐ効果がある。

ただし、気管内挿管による人工呼吸器の使用時にのみ使用する。



※気管内挿管による人工呼吸器の使用時以外に透明ヘッドドレープを使用しないこと。